

授業科目	* 相談援助演習 I				単位	1		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE11223J		
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	岡田 和敏、山本 佳代子、通山 久仁子、高口 恵美、梶原 浩介							
授業概要	相談援助演習の体系、それぞれの位置づけについて理解した上で、1 社会や地域で起きている福祉的課題・問題の実際や背景、それらを抱えた人々(当事者)、2 社会福祉士の活動領域・場・具体的支援内容・役割、3 社会福祉士としての価値・倫理、4 自己覚知・他者理解、5 コミュニケーション技術について学ぶ。本演習では、ロールプレイやグループワーク及びグループ討議などを交えて体験的に学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談援助演習の体系、それぞれの内容と位置づけについて理解できる。 2 現在生じている福祉的課題・問題(児童虐待、生活困窮者、刑余者、災害、DV、ひきこもりなどの社会的排除など)について理解し、説明できる。 3 社会福祉士の活動領域・場、そこでの具体的な支援内容、役割について説明できる。 4 社会福祉士としての価値・倫理について理解し、説明できる。 5 自分自身の価値観や思考傾向に目を向け、対人援助場面における自己覚知の必要性について説明できる。 6 基本的なコミュニケーション技術について理解し、活用できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	30	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)			5				5	
知識・理解 (DP1-2)			5				5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10		10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)				10		10	20	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)				10		10	20	
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1 相談援助演習の体系、それぞれの内容と位置づけについて理解できる。 2 現在生じている福祉的課題・問題について関心を持ち、理解し、他者に的確に説明することができる。また現実に行き起きているさまざまな問題について多面的にとらえることができる。 3 社会福祉の活動領域・場、そこでの具体的な支援内容、役割について理解し、他者に説明することができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1 相談援助演習の体系、それぞれの内容と位置づけについて理解できる。 2 現在生じている福祉的課題・問題について関心を持ち、理解できる。 3 社会福祉の活動領域・場、そこでの具体的な支援内容、役割について説明できる。 4 社会福祉士としての価値・倫理について理解し、説明でき 				

<p>4 社会福祉士としての価値・倫理について理解し、他者に説明することができる。</p> <p>5 自分自身の価値観や思考傾向に目を向け、対人援助場面における自己覚知の必要性</p>		<p>る。</p> <p>5 自分自身の価値観や思考傾向に目を向け、対人援助場面における自己覚知の必要性について説明できる。</p> <p>6 基本的なコミュニケーション技術について理解し、活用できる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 相談援助演習の体系及びそれぞれの位置づけについて理解する。本演習のねらい及び演習の進め方について理解する。	講義	当該部分の復習	30
2	社会福祉士の活動領域・場について考え、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
3	社会福祉士の活動領域・場について、そこでの具体的な支援内容、役割について考え、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
4	自己覚知とは何かについて体験的に学ぶ。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
5	対人援助場面に関する事例をもとに、自己の傾向について体験的に学ぶ。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
6	他者理解・他者との関係性について考え、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
7	福祉的課題・問題 社会や地域で起きているさまざまな福祉的課題・問題、当事者について理解し、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
8	福祉的課題・問題 社会や地域で起きているさまざまな福祉的課題・問題、当事者について理解し、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
9	福祉的課題・問題 社会や地域で起きているさまざまな福祉的課題・問題、当事者について理解し、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
10	社会福祉士として必要な価値、視点、態度、姿勢などについて理解し、討議する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
11	基本的なコミュニケーション技術 感情表出のさまざまな形について体験的に学ぶ。	講義・ロールプレイ	当該部分の復習	30
12	基本的なコミュニケーション技術 コミュニケーションにおける「話す」と「きく」について体験的に学ぶ。	講義・ロールプレイ	当該部分の復習	30
13	基本的なコミュニケーション技術 人を多面的・共感的に理解することについて体験的に学ぶ。	講義・ロールプレイ	当該部分の復習	30-
14	基本的なコミュニケーション技術 非言語的コミュニケーション(姿勢・距離・視線・表情・話す速さ・アクセントの違い)について学び、総合的なコミュニケーションの方法について体験的に学ぶ。	講義・ロールプレイ	当該部分の復習	30
15	まとめ 本演習での学びや気づきについて発表する。	講義・グループワーク	当該部分の復習	30
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	毎回の授業に積極的に参加してください。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員より紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだ内容について復習し、ボランティア活動や相談援助実習などで活用できるようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	授業内での発表、課題・レポートの内容・提出状況、その他(授業の参加意欲、グループワーク・ロールプレイにおける発言・発言内容・リーダーシップ・協力度など)で評価します。詳細は、授業内で提示します。			